(1) 専攻科の授業科目の履修等に関する規則

(目的)

第1条 この規則は、宇部工業高等専門学校学則第54条第3項及び第56条の規定に基づき、専攻科の授業科目の履修方法及び成績の評価並びに修了の認定等について定めることを目的とする。

(単位の計算方法)

- 第2条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学習を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の各号の基準により単位数を計算するものとする。
 - (1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 演習については、30時間の授業をもって1単位とする。
 - (3) 実験及び実習については、45時間の授業をもって1単位とする。

(履修方法)

第3条 専攻科に開設する授業科目の履修にあたっては、年度当初に別に定める「科目履修届」 を所定の期日までに、校長に提出しなければならない。

(指導教員)

第4条 専攻科の学生は、各専攻科の指導教員から授業科目の履修及び特別研究の指導を受けるものとする。

(試験)

- 第5条 試験は、定期試験及び追試験とする。
- 2 定期試験は、各授業科目の授業を終了した後の学年末に実施する。
- 3 追試験は、次の各号の一に掲げる事由により、定期試験を受験することができなかった者で、別に定める「追試験受験願」を所定の期日までに校長に提出し、その許可を得た者に対し実施する。
 - (1) 疾病(医師の診断書を要する。)
 - (2) 忌引
 - (3) その他やむを得ない事由があると校長が認めた場合

(成績の評価)

- 第6条 成績は、授業科目ごとに第5条に規定する試験の成績、その他を総合して評点で評価する。
- 2 成績の評価は、優(A)良(B)可(C)及び不可(F)とし、次の評点区分による。

評価	優(A)	良(B)	可(C)	不可(F)
評点	100 ~ 80	79~70	69 ~ 60	59以下

- 3 各授業科目とも欠課時数が授業時数の1/4を超える者に対しては、評価を行わない。
- 4 遅刻及び早退は、3回をもって欠課1回とする。

(単位の認定)

第7条 前条第2項の規定に基づき、評価が優、良及び可に評価された授業科目については、 当該科目を修得したものとして、単位を認定する。

(再履修)

- 第8条 単位を認定されなかった授業科目は、再履修することができる。
- 2 前項で定める再履修は、第3条の規定を準用する。 (他の高等教育機関において履修した単位の認定)
- **第9条** 他の高等教育機関において履修した単位は、16単位を超えない範囲で専攻科における授業科目の履修とみなし、単位の修得を認定することができる。

(修了に必要な単位)

- 第10条 専攻科の修了に必要な単位数は、62単位以上(一般科目、専門基礎科目、専門科目の内訳は、学則第52条、別表第3及び別表第4のとおり)修得するものとする。 (修了認定)
- **第11条** 校長は、学則及びこの規定に基づき、基準に該当する者について、修了認定会議に 諮り修了を認定する。

附 則

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 この規則施行の際、改正後の規則第6条及び第10条については、平成16年度 入学者から適用する。

附 則

- 1 この規則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 この規則施行の際、改正後の規則第10条については、平成17年度入学者から 適用する。

(2) 科目の単位と時間

専攻科のカリキュラムは、一般科目、専門基礎科目及び専門科目からなっています。各授業科目の履修は単位制により実施しており、講義、演習、実験・実習により行なわれます。

1単位の授業時間は、次の基準により単位数を計算します。

講	義	科	目	15時間の授業で1単位
演	習	科	目	3 0時間の演習で1単位
実馬	魚・身	星習 科	斗 目	45時間の実験・実習で1単位

(3) 授業終始時刻

時 限	授 業	時間	休憩時間	備考
바닷 원조	始業時間	終業時間	いのでは	用っち
1	8:45			
2		10:25	10分	
3	10:35			
4		12:15		
昼休時間	12:15~	13:00	(45分)	
5	13:00			
6		14:40	5分	
7	14:45			
8		16:25		

(4) 受講手続き

時間割表を参考にして必修科目、選択科目どちらも履修届を(他大学にあっては併せて受講申請も)提出してください。必修科目は、必ず履修して単位を修得しなければならない科目です。 選択科目は、開講されている科目の中から選択して履修し、単位を修得する科目です。

選択科目の中からどの科目を履修するかは、指導教員と相談のうえ、各自で決定してください。 ただし、半期に履修できる単位数は、24単位を超えないものとします。

(集中講義、インタ-ンシップを除く。)

受講科目が決定した学生は、履修届を指定の日時までに学生課教務・入試係に提出してください。履修届用紙は、学生課教務・入試係にあります。

(5) 試験と単位認定

試験は、原則として授業の終了する学期末に行なわれます。

試験の実施期日・時間等は、そのつど掲示します。

合格とならなかった科目のうち、修得する必要がある科目は、原則として再受講しなければなりません。この場合、学籍が必要です。

授業科目の履修設定及び単位認定(試験等)も授業科目担当教員が行います。

他の高等教育機関での修得単位については、単位認定申請書を提出し、専攻科委員会で審査の上、専攻科における履修と見なし、16単位(そのうち8単位以上は専攻に係る単位)を超えない 範囲で専攻科修得単位として認定されます。(取扱いについては(8)-(1)参照)

単位認定については、履修届を提出した科目のみ認められる。

(6) 専攻科修了要件

専攻科を修了するためには、62 単位以上(一般科目、専門基礎科目、専門科目の修得単位数の内訳については、入学年度の教育課程表を参照のこと。) 修得しなければなりません。

なお、この単位には上記(5)の他の高等教育機関で修得した単位のうち、専攻科修得単位として認定された単位を含みます。

(7) 教育プログラム修了要件

本校には「創造デザイン工学」教育プログラムと「経営情報工学」教育プログラムがあります。 生産システム工学専攻と物質工学専攻の入学者は、「創造デザイン工学」教育プログラムの履修者、経営情報工学専攻の入学者は、「経営情報工学」教育プログラムの履修者となります。

本校の本科を卒業し専攻科に入学した者は、専攻科を修了しかつ学士の学位を取得することで、教育プログラムの修了となります。ただし、他の高等専門学校を卒業し専攻科に入学した者等、専攻科のカリキュラムだけでは本校の教育プログラムの修了要件を満たさない場合があります。(取扱いについては(8)-(2)参照)この場合、専攻科入学後、本校の本科4、5年の科目や他の高等教育機関の科目を履修して単位を取得する等により、以下に示す要件を満たす必要があります。(取扱いについては(8)-(3)参照)

教育プログラム修了要件(別表1、2参照)

- 1. 教育プログラムが定めた科目を修得していること。
- 2. 教育プログラムにおいて、124単位以上修得していること。
- 3. 教育プログラムにおいて、1800 時間以上の学習時間を経ていること。1800 時間の内訳と しては次のとおりである。
 - 3-1. 人文科学・社会科学等 (語学教育を含む) の学習 250 時間以上。
 - 3-2. 数学・自然科学・情報技術の学習 250 時間以上。
 - 3-3. 専門技術に関する学習 900 時間以上。
- 4. 学士を取得していること(外部評価項目)

(8) 他の高等教育機関で取得した単位の取扱い

他の高等教育機関で取得した単位は、以下のように取り扱います。

- (1) 本校の学生が他の高等教育機関で取得した単位について、内容が本校の学習・教育目標 及び各専攻の教育目的に合っている科目については単位を認定します。
- (2) 他学校等から本校の専攻科へ入学した学生の既修得単位について 次の各号の条件をすべて満たした科目については単位を認定します。 授業内容が「創造デザイン工学」及び「経営情報工学」教育プログラムに合っていること。 JABEE 認定を受けた教育プログラムの科目であること。または、JABEE 認定を受けていない教育プログラムの科目では試験等を行い、本校の教育レベルと同等以上と判定されたものであること。
 - 実授業時間が、22.5 時間以上であること。
- (3) 専攻科に入学した学生で、「創造デザイン工学」及び「経営情報工学」教育プログラムを 修了するために本科の単位数又は学習時間が不足することが生じた場合は、以下の方法で 補うことができます。
 - (8)の(1)に示す他の高等教育機関で履修し単位を取得する。
 - 本校本科の授業科目を履修し単位を取得する。

別表 1 本プログラムが定めた科目(平成20年度 「創造デザイン工学」教育プログラム)

		(a)	(b)	(c)		(d)分	野別要件			(e)	(f)	(g)	(h)
	J A B E E 基準 1 の(1)	地 球	技 術	数 学	(1) 基礎 工学		2) 専門	工学		社会の	ŢŢ ĮĮĮŢ	自主的	まとめ
\	基年 の(1)	的視	が 社	自	5	<u>a</u>)	b)	c)	d)	要求	ニ ケ ー	· 継	の能力
		的視点から多面的	会や	然科学	群 6	プ ロ グ	実 験 計	創 造 性	実 務 問	を 解	トショ	続 的	力
		5多	自然	•	科 目 以	ラ	画	•	題の	決す	ョ ン 能	学習能	
		朗 的 に	に 及 ぼ	情 報 技	以 上	ム 独 自	遂 行	課題探求	理解	るため	能力	能 力	
		物	す 影	術		の	解		· 対	のデ			
		事を考える能	響			専門工学	析 · 説	解 決 能	応 能 力	ザイ			
	本校の	える	技術			子	明・	力	/1	ン 能			
	学習・教育目標	能力	者倫理				説 得			カ			
			理				能力						
(A)	好奇心と持続力			現代物理 学			卒業研究 工学実験		インター ンシップ			卒業研究	
				教養化学 自然科学			工学実験 系6単位 以上						
				関連2単位 以上									
(B)	情報技術			情報処理 演習	群から 1科目以 上							情報処理 演習(情報 関連外部	
				情報技術 関連2単	_							資格取得)	
(C)	立案能力			位以上	群	工学特論 ,		総合演習	工学特論	総合演習			
					からそれ ぞれ 1 科 目以上								
(D)	実現能力					特別研究		特別研究		特別研究			特別研究
						各専攻が定 めた専門選 択科目 D の							
						中から4単 位以上							
(E)	解析能力			線形代数数学関連2	群から 1 科目以 ト	工学複合実 験	工学複合 実験						工学複合 実験
				単位以上	_	各専攻が定 めた専門選 択科目 E の							
						中から4単位以上							
(F)	環境と技術者倫理	環境と社 会	技術者倫 理										
		人文社会 科学系3科											
(G)	コミュニケーション能力	目以上											特別研究 (学協会等
											英語表現 日本語表現		での発表)
											英語 (TOEIC		
											400点相当以上)		
											国語語学から3		
											科目以上		
			1	1	<u> </u>	1	<u> </u>	1	1	1	1	1	

別表2-1 プログラムに係わる科目の分類(平成20年度 機械工学科用)

_			カリス	長2 -	· ·	プログラムに係れ			•			之 1茂	械工学		_				
					学	J	人又・ 科学 (在会 語学	数字・ 情報技	自然科 技術	+子・				門技術) 時間に				
					学習教	A	を含む	(((1)基	礎工学			(2)		
					教育	B E	25() 時間 ト	2 5	0 時間	以上		新より 全体で 6				専		
					育目標	E		_					- M C C	11100			門	備	考
						E 基 準 の	語	人	数	自	情						門工学		
					の分	準 の	学系	文	学関	然科学関	報技	設	情	材	カ	社	子		
					類	分 分 類	科		連科	学	技術関	計	報	料	力学群	슾			
						類	目	会	科目	関	関	・シ	論	バ	群	技術群			
								科当	н	連 科	連 科	ステ	理	1		群			
								系		目	目	テ	群	オ					
								社会科学系科目				ム群		群					
								Ħ				н.							
\vdash		学年	配当																
	授 業 科 目			時間															
\vdash	微分方程式	2		45.0	(E)	(c)			2										
	応用数学	2		45.0	(E)	(c)			2										
	応用物理	2		45.0	(A)	(c)				2									
1	情報処理	2		45.0	(B)	(c)					2								
	情報処理		1	25.0	(B)	(c)					1								
1	材料力学	2		45.0	(E)	(d)-(1)-									2				
	材料学		1	25.0	(C)	(d)-(1)-								1					
1	熱力学	2		45.0	(E)	(d)-(1)-									2				
	水力学	2		45.0	(E)	(d)-(1)-									2				
1	工業力学	2		45.0	(E)	(d)-(1)-									2				
	流体工学		1	25.0	(E)	(d)-(1)-									1				
	伝熱工学		2	50.0	(E)	(d)-(1)-									2				
必	計測工学	2		45.0	(C)	(d)-(1)-						2							
修	自動制御		1	25.0	(C)	(d)-(1)-						1							
科目	振動工学		1	25.0	(E)	(d)-(1)-									1				
1	電気工学	1	_	22.5	(C)	(d)-(1)-						1							
1	電気工学		1	25.0	(C)	(d)-(1)-						1							
1	論理回路		1	25.0	(B)	(d)-(1)-						_	1						
	設計法 設計法	1	2	22.5	(C)	(d) -(1) -						2							
	設計法 設計製図・CAD	3	2	50.0 67.5	(C)	(d)-(1)- (d)-(1)-						3							
1	設計製図・CAD	<u>ي</u>	1	22.5	(C)	(d)-(1)- (d)-(1)-						1							
1	特別講義		1	22.5	(D)	(d)-(1)- (d)-(2)-a)											1		
1	工学実験	2	·	45.0	(A)	(d)-(2)-a) (d)-(2)-b)											2		
	応用工学実験	1		22.5	(A)	(d)-(2)-b)											1		
	応用工学実験		3	67.5	(A)	(d) -(2) -b)											3		
1	卒業研究		10	225	(A)	(d)-(2)-b),(g)											10		
1	修得単位計	26	26		` ′	. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			4	2	3	12	1	1	12		17		
	加工学		1	25.0	(C)	(d)-(1)-						1							
	熱機関			25.0	(E)	(d)-(1)-									1				
	基礎材料強度学		1	25.0	(C)	(d)-(1)-								1					
1	材料力学			25.0	(E)	(d)-(1)-									1				
1	流体工学		1	25.0	(E)	(d)-(1)-									1				
	基礎ロボット工学		1	25.0	(C)	(d)-(1)-						1							
	工業英語		1	25.0	(G)	(f)	1												
	校外実習		1		(A)	(d)-(2)-d)											1		
	地域教育		1		(D)	(d)-(2)-d)											1		
	外部授業科目		4							1									
	修得単位計	3以																	
L	修得単位合計	551	北上																

別表 2 - 2 プログラムに係わる科目の分類 (平成20年度 電気工学科用)

					衣 2 -	・2 ノログラムに係れ		社会科						専門	技術				
1					学習	J	学(語	学を含						9001		<u> </u>	(2)		
					教	A B	む) 25() 時間	2 -	O 11+ 1212	INI L		<u>(1)基礎</u> 群より	<u>注上字</u> 1 科目以	从上		(2)		
					育	Е		上	2 5	0 時間	以上			科目以		1	専		
					育目標	E基準の分類	人	社	数	自	情						門工	備	考
					の	準			学	然	報						学		
					分類	О	文科学系科	会科学系科	学関連科	科学関	技	設 計	情報	材料	力学群	社			
					共	類	系	系	科	関	術関	•	+IX •	•	群	会技術			
							科		目	連科	連	シ	論	バ		術			
							目	目		科目	科目	ステム	理群	イ オ		群			
												7		群					
												群							
	授 業 科 目		F配当	時間															
_			5年																
	微分方程式	2		45.0	(E)	(c)			2										
1	応用数学	2		45.0	(E)	(c)			2	•									
1	応用物理	2		45.0 22.5	(A)	(c)	-			2		1							
1	電気製図 電気回路	1		22.5	(C)	(d)-(1)- (d)-(1)-						1							
		2		45.0	(B)	(d)-(1)-						'	2						
1	通信工学 電子回路	2		45.0	(C)	(d)-(1)-						2							
	ディジタル回路	2		45.0	(B)	(d) -(1) -						_	2						
1	電子回路	1		22.5	(C)	(d) - (1) -	1					1	_						
يد,	マイコン	1		22.5	(B)	(c)					1								
必修	マイコン	1		22.5	(B)	(c)					1								
修科目	制御工学	1		22.5	(C)	(d)-(1)-						1							
目	電気材料		1	25.0	(C)	(d)-(1)-								1					
	電気機器	2		45.0	(E)	(d)-(1)-									2				
1	数値計算法		1	25.0	(B)	(c)					1								
	基礎情報理論		1	25.0	(B)	(c)					1								
	工学演習	1		22.5	(A)	(d)-(2)-a)											1		
	電気工学実験実習	4		90.0	(A)	(d)-(2)-b)											4		
	電気工学実験実習		4	90.0	(A)	(d)-(2)-b)											4		
	特別講義		1	25.0	(D)	(d)-(2)-a)											1		
	卒業研究		10	225	(A)	(d)-(2)-b),(g)				_							10		
<u> </u>	修得単位計	25	18	05.0	(6)	(1) (1)	1		4	2	4	10	5	2	2		20		
1	発変電工学		1	25.0	(C)	(d) - (1) -	-					1							
1	発変電工学		1	25.0	(C)	(d) - (1) -						1							
1	送配電工学 京電工工学		1	25.0 25.0	(C)	(d)-(1)- (d)-(1)-						1							
1	高電圧工学 電気法規		1	25.0	(C)	(d)-(1)- (d)-(1)-										1			
1	電気法規 電気設計		1	25.0	(C)	(d)-(1)-						1				<u>'</u>			
1	制御工学		1	25.0	(C)	(d)-(1)-						1							
1	制御工学		1	25.0	(C)	(d)-(1)-	1					1							
			1	25.0	(C)	(d) - (1) -						1							
択科	生産システム工学 電気機器応用		1	25.0	(E)	(d)-(1)-									1				
目	電気材料		1	25.0	(C)	(d)-(1)-								1					
	光エレクトロニクス		1	25.0	(C)	(d)-(1)-						1							
	コンピュータネットワーク		1	25.0	(B)	(d)-(1)-							1						
	応用情報処理		1	25.0	(B)	(d)-(1)-							1						
	工業英語		1	25.0	(G)	(f)	1												
	校外実習	-	1		(A)	(d)-(2)-d)											1		
	地域教育		1		(D)	(d)-(2)-d)											1		
	外部授業科目		4																
	修得単位計		以上.																
	修得単位合計	531	以上																

別表2-3 プログラムに係わる科目の分類(平成20年度 制御情報工学科用)

					2 - 3	ノログラムに係わる科							,,,	市田	++ 4=			
					学習	J A	人又・ 学(語 む)	任会科 学を含	数子・ 情報技	自然科: 統	7 '		(1)基礎	9001	技術 寺間以上	<u> </u>	(2)	
					自教育目標	B E	25	0 時間 上	2 5	0 時間	以上	各	群より	<u>工子</u> 1 科目以 科目以」			専	
					目標	E 基	人	社	数	自	情						門工	備考
					の	- 準 の			学	然	報						学	
					分類	の 分類	文科学系科目	会科学系科目	関連科目	科学関連科目	技術関連科目	設計・システム群	情報・論理群	材料・バイオ群	力学群	社会技術群		
		24/4	- #J 717	l														
	授 業 科 目	4年	5年	時間														
	———————— 応用数学	2		45.0	(E)	(c)			2									
	応用物理	2		45.0	(A)	(c)				2								
	情報特論		1	25.0	(B)	(c)					1							
	マイコン応用学	2		45.0	(C)	(d)-(1)-						2						
	C G工学		1	25.0	(B)	(c)					1							
	信号処理工学	2		45.0	(B)	(c)					2							
	情報工学	2		45.0	(B)	(c)					2							
	知能情報論		1	25.0	(B)	(d)-(1)-							1					
	材料加工学	2		45.0	(C)	(d)-(1)-								2				
	機械力学	2		45.0	(E)	(d)-(1)-									2			
必	計測工学	2		45.0	(C)	(d)-(1)-						2						
修	センサ工学I		1	25.0	(C)	(d)-(1)-						1						
修科目	画像計測学		1	25.0	(C)	(d)-(1)-						1						
Ħ	制御工学	2		45.0	(C)	(d)-(1)-						2						
	制御工学		1	25.0	(C)	(d)-(1)-						1						
	材料力学	2		45.0	(E)	(d)-(1)-									2			
	熱力学		1	25.0	(E)	(d)-(1)-									1			
	水力学	2		45.0	(E)	(d)-(1)-									2			
	計算機システム		1	25.0	(B)	(d)-(1)-							1					
	通信工学		1	25.0	(B)	(d)-(1)-							1					
	創造製作・実験	3		67.5	(A)	(d)-(2)-b)											3	
	工学実験		3	67.5	(A)	(d)-(2)-b)											3	
	特別講義		1	25.0	(D)	(d)-(2)-a)											1	
L	卒業研究		10	225	(A)	(d)-(2)-b),(g)											10	
	修得単位計	25	23						2	2	6	9	3	2	7	0	17	
	基礎ロボット工学		1	25.0	(C)	(d)-(1)-						1						
	計算機システム		1	25.0	(B)	(d)-(1)-							1					
	センサ工学		1	25.0	(C)	(d)-(1)-						1						
	通信工学		1	25.0	(B)	(d)-(1)-							1					
	計測応用論		1	25.0	(C)	(d)-(1)-						1						
	システム制御論		1	25.0	(C)	(d)-(1)-						1						
	校外実習	L .	1		(A)	(d)-(2)-d)											1	
	地域教育	L .	1		(D)	(d)-(2)-d)											1	
	外部授業科目	_ 4	4															
L	修得単位計	4l)	上															
	修得単位合計	524	以上															

別表 2 - 4 プログラムに係わる科目の分類 (平成20年度 物質工学科用)

					×Ζ - ·		人文・	社会科	数学・	自然科:					技術				
					学習	J A	学(語 む)	学を含	情報技	術			(1)基礎		時間以上	=	(2)		
					習教育目標	В	2 5 ()時間	2 5	0 時間	IJЬ		群より	1科目し			` ′		
					育日	E E	以	上		0 110	~ <u>~</u>	全	体で 6	科目以	<u> </u>		専門	備	考
					1標の分類	基準の分類	語学系科目	人文・社会科学系科目	数学関連科目	自然科学関連科目	情報技術関連科目	設計・システム群	情報・論理群	材料・バイオ群	力学群	社会技術群	学		3
								П				11+							
	授 業 科 目	_	F配当 5 年	時間															
	微分方程式	1		22.5	(E)	(c)			1										
	応用数学	1		22.5	(E)	(c)			1										
	応用物理	1		22.5	(A)	(c)				1									
	応用物理	1		22.5	(A)	(c)				1									
1	物理化学 物理化学	1		22.5 22.5	(A)	(c)	1			1									
	有機化学	1		22.5	(A)	(c)				1									
1	機械工学基礎	1		22.5	(C)	(d)-(1)-	1			•					1				
1	機械工学基礎	1		22.5	(E)	(d)-(1)-									1				-
1	電子工学基礎		1	25.0	(B)	(d)-(1)-							1						
	電子工学基礎		1	25.0	(B)	(c)							1						-
1	情報処理	1		22.5	(B)	(c)					1								
++	情報処理	1		22.5	(B)	(c)					1								
共通	情報処理	1	1	22.5	(B)	(c)	1				1								
必	情報処理	1	1	22.5 22.5	(B)	(c) (d)-(1)-	-				1	1							
修	化学工学	1		22.5	(C)	(d)-(1)-						1							
	化学工学 化学工学	<u>'</u>	1	25.0	(C)	(d)-(1)-						1							
	機器分析	1		22.5	(C)	(d)-(1)-								1					
	機器分析	1		22.5	(C)	(d)-(1)-								1					
	物理化学実験	2		45.0	(A)	(d)-(2)-b)											2		
	化学工学実験	2		45.0	(A)	(d)-(2)-b)											2		
	基礎物質工学演習	1		22.5	(A)	(c)				1									
	工業英語		1	25.0	(G)	(f)	1												
	工業英語		1	25.0	(G)	(f)	1										_		
	物質工学ゼミ	2		45.0	(A)	(d) - (2) -b)											2		
	特別講義 卒業研究		10	22.5 225	(D) (A)	(d)-(2)-a) (d)-(2)-b),(g)											1 13		
	修得単位計	22	18	223	(A)	(u)-(2)-b),(g)	2		2	6	2	3	2	2	2		20		
	無機材料工学		1	25.0	(C)	(d)-(1)-	1 -				_	Ť	_	1	_				
	無機材料工学		1	25.0	(C)	(d)-(1)-								1					
物	高分子化学	1		22.5	(C)	(d)-(1)-								1					
質「	高分子化学	1		22.5	(C)	(d)-(1)-								1					
	合成化学	ļ	1	25.0	(A)	(c)				1									
ス	化学反応工学	<u> </u>	1	25.0	(C)	(d)-(1)-	1					1					_		
	物質工学演習	 	2	45.0	(A)	(d) - (2) -b)											2		
الا	化学反応工学実験 物質工学実験	2	2	45.0 45.0	(A)	(d)-(2)-b) (d)-(2)-b)											2		
1	修得単位計	4	8	-₹0.0	(^)	(4) - (2) -U)	1			1		2		4			6		
	生物化学	1	Ĭ	22.5	(C)	(d)-(1)-	1							1			Ť		
	生物化学	1		22.5	(C)	(d)-(1)-								1					
	遺伝子・細胞工学		1	25.0	(C)	(d)-(1)-								1					
物口	分子生物学		1	25.0	(C)	(d)-(1)-								1					
	分子生物学	1	1	25.0	(C)	(d)-(1)-								1					
ス	生物反応工学	1	1 2	25.0	(C)	(d) - (1) -						1					2		
必修	生物工学演習 生物反応工学実験	1	2	45.0 45.0	(A)	(d)-(2)-b) (d)-(2)-b)	1										2		
19	生物反心上字美缺 生物工学実験	2		45.0	(A)	(d)-(2)-b) (d)-(2)-b)											2		
1	修得単位計	4	8	.3.0	\.'')	(-/ (-/ ~/						2		5			6		
	環境工学		1	25.0	(C)	(d)-(1)-										1			
1	生産管理		1	25.0	(C)	(d)-(1)-			_							1			
1	制御工学	1	1	25.0	(C)	(d)-(1)-						1							
共	界面化学	<u> </u>	1	25.0	(A)	(c)	1			1		l .							
通選	化学計測	1	1	25.0	(C)	(d) - (1) -						1		4					
进択	食品工学	 	1	25.0	(C)	(d)-(1)- (c)				-1				1					
1	計算生物化学 天然物化学	1	1	25.0 25.0	(A) (C)	(c) (d)-(1)-	1			1				1					
1	校外実習	1	1	20.0	(A)	(d)-(1)- (d)-(2)-d)											1		
1	修得単位計		人上		(")	(~) (2) (4)	1										<u> </u>		
	修得单位合計		以上																
	. Z 1.3 1 HZ HH H I						-												

別表2-5 プログラムに係わる科目の分類(平成20年度 一般科目(本科)用)

大文・社会科学 大文・社会科学 野門技術 ターの のの のの のの のの のの のの の					別表 2	- 3	プログラムに係わる科目						† H (^	トイナノ						
日本								人文・	社会科	数学・	自然科	学・								
B						罗翠	-	子(語	子を召	情報找	(作)			(1)其		時間以	上	(2)		
大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型						教		2 5		2 5	O □±88	IN L	各			以上		(2)		
大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型						育		以	上	2 3	O 时间	以上	全	体で 6	科目以	上		専		
大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型						目煙	E Ħ	≐五	ı	*47	Á	桂						ᄪ	備考	
類 分類 科 社 連科 日 日 日 日 日 日 日 日 日						の	準	学		学								学		
接						分	Ø.	系	•	関	科	技		情	材	カ	社	-		
接						類	分	科日		連利	学問	術			料	学	会坛			
接 業 科 目 学年配当							大 貝		云 科	114 		連		論	バ	11+	術			
接 業 科 目 学年配当									学		科	科		理			群			
接 業 科 目									系		Ħ	目		群						
接 業 科 目 学年配当 4年 5年 時間	1								目						ti+					
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	1																			
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	\vdash		24.6	C #1717																
国語 1 22.5 (G) (f) 1 英語演習 B 2 45.0 (G) (f) 2 英語演習 C 1 25.0 (G) (f) 1 ドイツ語 2 45.0 (G) (f) 2 諸法学 2 45.0 (F) (a) 2 社会科学 1 25.0 (F) (a) 1 社会科学 1 25.0 (F) (a) 1 修得単位計 7 3 6 4 資格英語演習 1 25.0 (G) (f) 1 イグ リッシュミュニケーション A 1 25.0 (G) (f) 1 イグ リッシュミュニケーション B 1 25.0 (G) (f) 1 ドイツ語 A 1 22.5 (G) (f) 1 ドイツ語 A 1 22.5 (G) (f) 1 1 科目 1 25.0 (G) (F) 1 1 科目 1 25.0 (G) (F) 1 1 イング リッシュュニーケーション B 1 25.0 (G) (f) 1 1 科目 1 25.0 (G) (F) 1 1 科目 1 2		授 業 科 目			時間															
英語演習 B 2 45.0 (G) (f) 2 英語演習 C 1 25.0 (G) (f) 1 ドイツ語 2 45.0 (G) (f) 2 法学 2 45.0 (F) (a) 2 社会科学 1 25.0 (F) (a) 1 1 25.0 (F) (a) 1 社会科学 1 25.0 (F) (a) 1 1 25.0 (F) (a) 1 修得単位計 7 3 (f) 1 25.0 (F) (f) 1 (f) 1 1 25.0 (G) (f) 1 資格英語演習 1 25.0 (G) (f) 1	-		_	5年		(0)	(4)													_
必修 英語演習 C 1 25.0 (G) (f) 1 ドイツ語 2 45.0 (G) (f) 2 法学 2 45.0 (F) (a) 2 社会科学 1 25.0 (F) (a) 1 社会科学 1 25.0 (F) (a) 1 修得単位計 7 3 修得単位計 7 3 資格英語演習 1 25.0 (G) (f) 1 インゲ リッシュミュニケーション A 1 22.5 (G) (f) 1 1 25.0 (G) (F) (F) (F) (F) (F) (F) (F) (F) (F) (F							, ,													_
Fイツ語 2 45.0 (G) (f) 2			2					-												_
社会科学 1 25.0 (F) (a) 1 (a) 1 (b) (e) (f) (a) 1 (a) 1 (a) 1 (a) 1 (b) (e) (e) (f) 1 (a) (f) 1 (a) (f) (f) 1 (f)	必	英語演習 C		1			()													_
社会科学 1 25.0 (F) (a) 1 (a) 1 (b) (e) (f) (a) 1 (a) 1 (a) 1 (a) 1 (a) 1 (b) (e) (e) (f) 1 (a) (f) 1 (a) (f) (f) (f) (f) (f) (f) (f) (f) (f) (f	修	ドイツ語			45.0		` '	2												
社会科学 1 25.0 (F) (a) 1 (a) 1 (b) (e) (f) (a) 1 (a) 1 (a) 1 (a) 1 (a) 1 (b) (e) (e) (f) 1 (a) (f) 1 (a) (f) (f) (f) (f) (f) (f) (f) (f) (f) (f	選切	法学	2		45.0		, ,		2											
修得単位計 7 3 6 4 資格英語演習 1 22.5 (G) (f) 1 資格英語演習 1 25.0 (G) (f) 1 インゲ リッシュコミュニケーション A 1 22.5 (G) (f) 1 インゲ リッシュコミュニケーション B 1 25.0 (G) (f) 1 ドイツ語 A 1 22.5 (G) (f) 1 ドイツ語 A 1 22.5 (G) (f) 1 日本 1 22.5 (G) (F) 1 日本 1 22.5 (G) (F) 1	3/(社芸科子		1	25.0		(a)		1											
資格英語演習 1 22.5 (G) (f) 1 資格英語演習 1 25.0 (G) (f) 1 インゲ リッシュコミュニケーション A 1 22.5 (G) (f) 1 インゲ リッシュコミュニケーション B 1 25.0 (G) (f) 1 ドイツ語 A 1 22.5 (G) (f) 1 ドイツ語 A 1 22.5 (G) (f) 1	I	社会科学		1	25.0	(F)	(a)		1											
資格英語演習 1 25.0 (G) (f) 1 インゲ リッシュコミュニケーション A 1 22.5 (G) (f) 1 インゲ リッシュコミュニケーション B 1 25.0 (G) (f) 1 ドイツ語 A 1 22.5 (G) (f) 1	L	修得単位計	7	3				6	4											
インゲ リッシュコミュニケーション A 1 22.5 (G) (f) 1 インゲ リッシュコミュニケーション B 1 25.0 (G) (f) 1 ドイツ語 A 1 22.5 (G) (f) 1 ドイツ語 A 1 22.5 (G) (f) 1 1 科目 1 1 1 1		資格英語演習	1		22.5	(G)	(f)	1												
イング・リッシュコミュニケーション B 1 25.0 (G) (f) 1 ドイツ語 A 1 22.5 (G) (f) 1	1	資格英語演習		1	25.0	(G)	(f)	1												
イング・リッシュコミュニケーション B 1 25.0 (G) (f) 1 ドイツ語 A 1 22.5 (G) (f) 1	1	イング リッシュコミュニケーション A	1		22.5	(G)	(f)	1												
ドイツ語 A 1 22.5 (G) (f) 1 1 1単位	I	イング リッシュコミュニケーション B		1		(G)	(f)	1												
1+12	1	ドイツ語 A	1				(f)	1												
ドイツ語 B	I	ドイツ語 B		1		(G)	(f)	1											1 + 12	
中国語 1 22.5 (G) (f) 1	1		1				, ,													
中国語	I		-	1			, ,	1												
修得単位計 1 1 1 2 2	1		1	-	20.0	(0)	\''/												/	-
修得单位合計 8 4 8 4 8 4	H		_						4											\dashv

別表2-6 プログラムに係わる科目の分類(平成20年度 生産システム工学専攻用)

_					別表	2 - 6	プログラムに係わる科目						/ステムエ:	学専攻	用)				
						学習	J	人又・ 学(語	社会科 学を含	数字・ 情報技	自然科: 術	子・	L			技術			
						習教	A B	む)	0 時間			b.L.I.	各	(1)基礎 群より	を 1 科 日 !	u F		(2)	
						育	Ē		上	2 5	0 時間	以上		体で 6				専	/
1						目標	E E 基	語	人	数	自	情	L					門工	備考
						の分	準	学系	文	学	然	報	設	情	材	+1	社	学	
						類	準 の 分 類	学系科目	社	関連科目	科学	技術	計	報	料料	力学	会		
							類	目	会科	科目	関連	関連	・シ	論	バ	群	技術		
									学系		科目	科目	ステム	理群	イオ		群		
									科			П	<u> </u>	11+	群				
									目				群						
			, A44, Fr	- X-7 \1/															
		授 業 科 目	1年	配当 2年	時間														
		日本語表現	2	- '	25.0	(G)	(f)	2											
-	必	英語表現	2		25.0	(G)	(f)	2											
般科目	修	英語	2		25.0	(G)	(f)	2											
目	15	環境と社会	2		25.0	(F)	(a)		2										
		技術者倫理 修得単位計	10単位	以上	25.0	(F)	(b)												
П		線形代数	2		25.0	(E)	(c)			2									
	必	現代物理学	2		25.0	(A)	(c)				2								
	修	教養化学	2		25.0	(A)	(c)				2	_							
		情報処理演習	2		50.0	(B)	(c)			2		2							h
専門質量 選債科学 2 25.0 (E) (c) 2 選生命科学 2 25.0 (A) (C) 2 (2 25.0 (A) (C) 2								2											
専門 環境科学 2 25.0 (A) (C) 基準 生命科学 2 25.0 (A) (C) 計算物理学 2 25.0 (B) (C)											2								2 科目4単位以上
礎	択	計算物理学	2		25.0	(B)	(c)					2							
科目	3/1	数理情報工学	2	_	25.0	(B)	(c)					2					_		<u>K</u>
		経営管理工学 MOT入門		2	25.0 25.0	(C)	(d)-(1)- (d)-(1)-										2		1科目2単位以上
		修得単位計	14単位		20.0	(0)	(d) (1)												
		工学特論	2		25.0	(C)	(d)-(2)-a)											2	
	必	工学特論	2		25.0	(C)	(d)-(2)-a),(d)-(2)-d)											2	
	修	総合演習 工学複合実験	2		50.0 75.0	(C) (E)	(d)-(2)-c),(e) (d)-(2)-a),(d)-(2)-b),(h)											2	
	115	インターンシップ		2	75.0	(A)	(d)-(2)-d), (d)-(2)-b), (ii)											2	
		特別研究	4	10	525.0	(D),(G)	(d)-(2)-a),(d)-(2)-c),(e),(h)											14	
		計測システム工学	2		25.0	(D)	(d)-(2)-a)											2	1)
		オペレーティングシステム工学		2	25.0	(D)	(d)-(2)-a)											2	
		情報ネットワーク 材料強度学		2	25.0 25.0	(D) (D)	(d)-(2)-a) (d)-(2)-a)											2	
		生産加工学		2	25.0	(D)	(d) - (2) -a)											2	
		機械要素工学		2	25.0	(D)	(d)-(2)-a)											2	2科目4単位以上
		システム制御工学	2		25.0	(D)	(d)-(2)-a)											2	
専		パターン計測工学 ロボット工学		2	25.0	(D) (D)	(d)-(2)-a)											2	
門		電力工学		2	25.0 25.0	(D)	(d)-(2)-a) (d)-(2)-a)											2	
科		パワーエレクトロニクス		2	25.0	(D)	(d)-(2)-a)											2	V
1	選	制御理論		2		(E)	(d)-(2)-a)											2	1)
目		画像解析学	2		25.0		(d) - (2) -a)											2	
	択	量子力学 電磁気学理論	2		25.0 25.0		(d)-(2)-a) (d)-(2)-a)											2	
		カオス入門		2			(d)-(2)-a)											2	
	カオス入門 2 25.0 (E) 弾塑性力学 2 25.0 (E)		(d)-(2)-a)											2	il				
	エネルギー工学 2 25.0 (E) (e)		(d)-(2)-a)											2	2 54 10 4 24 45 11 1				
		応用流体工学 解析力学	2	2	25.0 25.0		(d)-(2)-a) (d)-(2)-a)											2	2科目4単位以上
		燃焼工学		2	25.0	(E)	(d)-(2)-a) (d)-(2)-a)											2	
		計算力学 2 25.0 (E) 電子回路設計解析学 2 25.0 (E)					(d) - (2) -a)											2	
						(E)	(d)-(2)-a)											2	
		応用情報工学		2	25.0		(d)-(2)-a)											2	
		計算機応用計測 半導体電子物性		2	25.0 25.0	(E)	(d)-(2)-a) (d)-(2)-a)											2	IJ
		修得単位計	32単位		20.0	(=)	(u)-(2)-a)												
		修得単位数合計		立以上															
	- /	也の高等教育機関において			位本企	ЬZ													

別表2-7 プログラムに係わる科目の分類(平成20年度 物質工学専攻用)

_					別	表2-	7 プログラムに係わる 利	組の	<u>分類(</u>	平成 2	0年度	物質	質工学!	専攻用)				
						学	J	人文・ 学(語	社会科 学を含	数字・ 情報技	ロ然科 ³ 術	子・	L			技術			
						学習教育	A B	む) 25	0 時間 上		0 時間	以上		(1)基礎 群より 体で 6 i	1科目以			(2) 専	
						目標の分類	E E 基準の分類	語学系科目	人文・社会科	数学関連科目	自然科学関連	情報技術関連	設計・シ	情報・論	材料・バ	力学群	社会技術	門工学	構考
									1 学系科目	П	科目	科目	ノステム群	理群	ハイオ群		群		
	ł	受業科目	学年 1 年	配当 2年	時間														
		日本語表現	2		25.0	(G)	(f)	2											
[-]	必	英語表現	2		25.0	(G)	(f)	2											<u> </u>
般科目	修	英語	2		25.0	(G)	(f)	2											
目	12	環境と社会	2		25.0	(F)	(a)		2										
		技術者倫理 修得単位計	2 10単位	 N =	25.0	(F)	(b)		2										
H		線形代数	2	以上	25.0	(E)	(c)			2									
	必	現代物理学	2		25.0	(A)	(c)				2								
	修	教養化学	2		25.0	(A)	(c)				2								
		情報処理演習	2		50.0	(B)	(c)					2							
		数値解析	2		25.0 25.0	(E)	(c)			2									<u> </u>
専門		数値解析 2 環境科学 2				(A)	(c)				2								2 54 12 4 24 15 17 1
基	選	生命科学	2		25.0	(A)	(c)				2	_							2 科目4単位以上
門基礎科目	択	計算物理学	2		25.0	(B)	(c)					2							IJ
目		数理情報工学 経営管理工学	2	2	25.0 25.0	(B) (C)	(c) (d)-(1)-					2					2		ń
		MOT入門		2	25.0	(C)	(d)-(1)- (d)-(1)-										2		1科目2単位以上
		修得単位計	14単位				\-/\\'/												
		工学特論	2		25.0	(C)	(d)-(2)-a)											2	
	λ'n	工学特論	2		25.0	(C)	(d)-(2)-a),(d)-(2)-d)											2	
	必	総合演習	2		50.0	(C)	(d)-(2)-c),(e)											2	
	修	工学複合実験	2		75.0	(E)	(d)-(2)-a),(d)-(2)-b),(h)											2	
		インターンシップ 特別研究	4	10	525 ^	(A)	(d)-(2)-d)											2 14	
		無機材料学	4	2	525.0 25.0	(D),(G) (D)	(d)-(2)-a),(d)-(2)-c),(e),(h) (d)-(2)-a)											2	
		生体触媒工学		2	25.0	(D)	(d)-(2)-a) (d)-(2)-a)											2	1
		分離操作工学		2	25.0	(D)	(d) - (2) -a)											2	1
		環境機能工学		2	25.0	(D)	(d)-(2)-a)											2	 2 科目 4 単位以上
		環境制御工学		2	25.0	(D)	(d)-(2)-a)											2	
		エネルギープ・吐ス工学	2		25.0	(D)	(d)-(2)-a)											2	
専		材料有機化学	2	_	25.0	(D)	(d)-(2)-a)											2	i J
門		反応工学 栄養生化学	2	2	25.0	(D)	(d) - (2) -a)											2	K
科		精密分析化学	2		25.0 25.0	(E) (E)	(d)-(2)-a) (d)-(2)-a)											2	1
	選	有機合成化学	2		25.0		(d)-(2)-a) (d)-(2)-a)											2	2540 4 24 45 11
目		天然物有機化学		2		(E)	(d) - (2) -a)											2	2科目4単位以上
	択	生体機能工学		2	25.0	(E)	(d)-(2)-a)											2	il
		無機溶液化学		2	25.0	(E)	(d)-(2)-a)											2	γ
			-															2	
			-															2	
																		2	
																		2	
																		2	
																		2	
																		2	
																		2	
Ш		修得単位計	32単位																
		修得単位数合計 hの高等教育機関におい		立以上															l

他の高等教育機関において修得した単位を含める

別表1 プログラムが定めた科目(平成20年度 「経営情報工学」教育プログラム)

IADE					<u>に科目(平</u>	成20年度 (水分野	' <u>経宮情</u> 別要件	報工学」教	育フロクラ		(a)	(b)
	EE 基準1の(1) 学習·教育	(3)地球的視点から多面的に物事を考える能力	(b)技術が社会や自然に及ぼす影響(技術者倫理)	(c)数学·自然科学·情報技術	(1)経営管理に関する知識・活用能力	(0)(2)数理的な解析能力		(4)関連分野に関する基礎知識	(e)社会の要求を解決するためのデザイン能力	(f)コミュニケー ション能力	(9)自主的・継続的学習能力	(h)まとめの能力
(A)	好奇心と持続力			自然科学概論	経営情報研				インターン シップ		卒業研究 経営情報研	
(B)	情報技術			情報理論 情報技術関連4単位以上	究ゼミ						究ゼミ 情報理論 (情報処理関 連外部資格 取得)	
(C)	立案能力		知的財産法		経営管理特論 MOT入門 経営情報工学 特論 経営情報工学 特論 経営管理関連 5単位以上			生産管理論 経済学 会計学原理 経営財務論 経営組織論	経営情報工 学特論			
(D)	実現能力						特別研究 社会システム工学実験 情報技術(専連 3単位以上		特別研究			特別研究 社会システム工学実験
(E)	解析能力			線形代数 社会システム工学実験 数学関連4 単位以上		社会システ ム工学実験 数理(専門技術)関連4単 位以上						
(F)	環境と技術者倫理	環境と社会 人文・社会科 学系4単位 以上	技術者倫理									
(G)	コミュニケーション能力									日本語表現 国語 英語 (TOEIC400 点相当以上) 英語表現 語学系8単位以上		特別研究(学 協会等での 発表)

別表 2 - 1 プログラムに係わる科目の分類(平成20年度 経営情報学科用)

_		Л	1175 Z	- 1	ノL	コグラムに係わる科目の											
					学習教	J A	人又・ 科学 (を含む	語学	数学・ 情報技		1字・		専門				
					育	B E	2 5 C 以上	時間	2 5 0 時間 以上			900時間以上					
					目標	E			*-	-		(1)	(2)	(3)	(4)	備	考
					標の分類	B E E 基準の分類	語学系科目	人文・社会科学系科に	数学関連科目	自然科学関連科目	情報技術関連科目	経営管理	数 理	情報技術	関連分野		
								目									
	授 業 科 目	学年 4 年	配当 5年	時間													
	経営財務論	2		45.0	(C)	(d)-(4)									2		
	経営組織論	2		45.0	(C)	(d)-(4)									2		
	生産管理論		2	50.0	(C)	(d)-(4)									2		
	マーケティング論			50.0	(C)	(d)-(1)						2					
	国際経営論			25.0	(F)	(a)		1									
			25.0	(C)	(d)-(1)						1						
	知的財産法			25.0	(C)	(b)		1									
	会計学原理			45.0	(C)	(d)-(4)									2		
	経済学			45.0	(C)	(d)-(4)									2		
	経営統計学			45.0	(E)	(c)			2								
1	品質管理論			50.0	(C)	(d)-(1)						2					
1	経営工学	2	_	45.0	(E)	(d)-(2)						-	2				
١,,	経営工学	_	2	50.0	(E)	(d) - (2)							2				
必修		1	_	22.5	(D)	(d) - (3)							_	1			
杉科		2		45.0	(D)	(d)-(3)								2			
目	OA演習	2		45.0	(B)	(c)					2						
Ī	システム設計論	1		22.5	(B)	(c)					1						
	システム設計演習	1		22.5	(B)	(c)					1						
	応用数学	1		22.5	(E)	(c)			1		1						
	多变量解析	'	1	25.0	(E)	(c)			1								
1	自然科学概論			50.0	(A)	(c)			'	2							
	外国語演習	1		22.5	(A)	(f)	1										
1	外国語演習			25.0	(G)	(f)	1										
1	外国事情	2	ı	45.0		(1) (a)	'	2									
I	外国事情 特別講義			45.0 25.0	(F)	. ,	1	1									
	将別講報 経営情報研究ゼミ	1	1	22.5	(F) (A)	(a) (d)-(1), (g)		1				1					
	卒業研究	1	10	22.5	(A)	(d)-(1), (g) (d)-(1), (g)						10					
	修得単位計			220	(11)	(u)-(i), (g)	2	5	4	2	4	16	4	3	10		
\vdash	商法	1	20	22.5	(E\	(b)		1	4		4	10	4	3	10		
	向法 応用プログラミング論	1		22.5	(F) (B)	(c)	1	1			1						
	人事管理論	1	1	25.0	(C)	(d)-(1)					1	1					
	財務諸表論		1	25.0	(C)	(d)-(1)						- '			1		
	ベンチャー企業論		1	25.0	(C)	(d)-(4)	1					1			1		
	技術経営論		1	25.0	(C)	(d)-(1)						1					
	情報社会論		1	25.0	(F)	(b)		1				- '					
	Mebコンピューティング		1	22.5	(F)	(d)-(3)		-						1			
	ネットワーク技術概論		1	22.5	(D)	(d)-(3)								1			
1	校外実習	,		22.0	(A)	(u)-(3)								1	1		
1	地域教育		1		(A)										1		
	^{地域教育} 外部授業科目		1		(u)												
1			! ፤以上				-										
\vdash	修得单位計	55単位					-										
Щ	修得単位合計	JJ半1	ᅩ쏘				1		l			l				<u> </u>	

別表2-2 プログラムに係わる科目の分類(平成20年度 一般科目(本科)用)

_		733 6	< 2 -			/ ノムに ほわる 竹石の /						<u> 4417</u>	, ,,,,			
					学習教育目標の	J A B E	人文・ 科学(を含む 以上	語学	数学・自然科学・ 情報技術 250時間 以上			専門技術 900時間以上				
					目	E	≐五	ı	米石	Ú	桂	(1)	(2)	(3)	(4)	備考
					伝の分類	BEE基準の分類	語学系科目	人 文 社	数学関連	自然科学関	情報技術	経営管理	数 理	情報技術	関連分野	
						類	目	会科学系科目	科目	関連科目	関連科目	理		祈	野	
	授 業 科 目	学年 4 年	配当 5 年	時間												
	国語Ⅳ	1		22.5	(G)	(f)	1									
	英語演習 B	2		45.0	(G)	(f)	2									
	英語演習 C		1	25.0	(G)	(f)	1									
必修科	英語表現	1		22.5	(G)	(f)	1									
杉科	英語表現		1	25.0	(G)	(f)	1									
目	イングリッシュコミュニケーションB	1		22.5	(G)	(f)	1									
	社会科学		1	25.0	(F)	(a)		1								
	社会科学		1	25.0	(F)	(a)		1								
	修得単位計	5	4				7									
	ドイツ語	2		45.0	(G)	(f)	2] 1科目
	中国語	2		45.0	(G)	(f)	2									∫ 2単位
	修得単位計	2	0													
	修得単位合計	7	4													

		別和	表2-	3	プロク	ブラム	に係わる科目の含						工学専	攻用)		
						学習	J	人文・ 科学 (社会語学	数学・ 情報技	自然科 技術	学・		専門	技術		
							Α	を含む))				l ,				
							B E	2 5 0 時間 以上		2 5 0 時間 以上			900時間以上				
			教育目標	E 基 準	幸五	人文・社会科学系科	44-	_	1=	(1)	(2)	(3)	(4)				
			傷の	基準	語学系		数学関	自然	情報	経	数	情	関				
			分	の	系		関	然科学関連科	技	営管	理	報 技	連分野				
			類	分 類	科目		連科	異	術関	理		術	野	備考			
							目	連	連 科								
									系		目	目					
									科目								
									П								
			学年	配当													
		授 業 科 目	1年	2年	時間												
	日本語表現		2	 	(f)	2		+		 							
_	,iV.	英語	2		25.0	(G)	(f)	2									
般	必修	英語表現	2		25.0	(G)	(f)	2									
般科目		環境と社会	2		25.0	(F)	(a)		2								<u> </u>
		技術者倫理	2	÷ N L	25.0	(F)	(b)		2								
\vdash		修得単位計 線形代数	10単位	以以上	25.0	(E)	(c)			2							
	必修	経営管理特論	2		25.0	(E) (C)	(d)-(1)						2				
		MOT入門	2		25.0	(C)	(d) - (1)						2				
		情報理論	2		25.0	(B)	(c),(g)					2					
	選択	知的財産法特論	2		25.0	(C)	(b)		2								
専		eコマースシステム論	2		25.0	(C)	(d)-(4)									2	
専門基礎科目		経営管理工学	2		25.0	(C)	(d)-(1)						2				
礎		プログラミング特論	2		25.0	(D)	(d)-(3)								2		
目目		情報処理特論 数理情報工学	2		25.0 25.0	(D) (E)	(d)-(3) (c)			2					2		3科目 6単位以上
		複雑系理論入門	2		25.0	(E)	(c)							2			
		オペレーティングシステム工学		2	25.0	(B)	(c)					2		_			
		実験計画法		2	25.0	(E)	(c)							2			
		論理回路	2		25.0	(B)	(c)					2					J
		修得単位計	14单位	立以上													
		経営情報工学特別研究	4	10	525.0	(D)	(d)-(3),(e),(h)								14		
	٠,	経営情報工学特論	2	-	25.0	(C)	(d)-(1)						2				
	必	経営情報工学特論 社会システム工学実験	2	2	25.0 75.0	(C) (E)	(d)-(1),(e) (d)-(2)						2	2			
	修	社会システム工学実験	2		75.0	(E)	(d)-(2) (c)					2					
		社会システム工学実験	Ī	2	75.0	(D)	(d)-(3),(h)					_			2		
		インターンシップ	:	2		(A)	(e)										
専	_	経営情報システム論	2		25.0	(C)	(d)-(1)						2				
専門科目		ネットワーク組織論	-	2	25.0		(d)-(1)						2				
目		MOT特論		2	25.0		(d)-(1)						2				
	選	会計監査論		2	25.0		(d) - (4)							2		2	/£3 F3
	+□	金融工学ネットワーク技術特論		2	25.0 25.0	(E) (D)	(d)-(2) (d)-(3)							2	2		√4科目 / 8単位以上
	択	データベース応用		2	25.0	(D)	(d)-(3)								2		
		応用統計学		2	25.0		(d) - (2)							2	_		
		地域社会論		2	25.0	(F)	(a)		2								
		外書講読	2		25.0	(G)	(f)									2	J
		修得単位計	34単位														
		修得単位合計	62单位	立以上						<u> </u>			<u> </u>				<u> </u>

(9)学生表彰規則

(趣旨)

第1条 この規則は、宇部工業高等専門学校学則第38条第2項の規定に基づき、本校の学生の表彰について定めるものとする。

(表彰)

- 第2条 表彰は、次の各号の一に該当する者について行うものとする。
- (1) 学業、人物ともに優秀な者
- (2) 5年間を通じて皆勤の者
- (3) 課外活動に卓越した成果を収めた者
- (4) その他学生の模範として推奨できる行為又は功労のあった者
- 2 学校主催行事における成績の顕著な者の表彰については、別に定める。 (表彰の推薦)
- 第3条 前条第1項第3号及び第4号の表彰に該当すると認められる者のあった場合、職員は、教務主事、学生主事又は寮務主事等を経て、表彰推薦者(別紙様式1)により推薦することができる。

(表彰の決定)

- **第4条** 表彰は、第2条第1項第1号及び第2号にあっては教務委員会、同条第1項第3 号及び第4号にあっては、厚生補導委員会等の議を経て、校長が決定するものとする。 (表彰の時期)
- **第5条** 第2条第1項第1号及び第2号に規定する表彰は、卒業時に、同条第1項第3号 及び第4号の表彰は、その都度行うものとする。

(授与)

- 第6条 校長は、第4条の規定により表彰を決定したときは、表彰状を授与するものとする。
- 2 前項の表彰状授与にあわせて、記念品を贈呈することができる。
- 3 表彰状の様式は、次の各号に定めるとおりとする。
- (1) 第2条第1項第1号の表彰 別紙様式2
- (2) 第2条第1項第2号の表彰 別紙様式3
- (3) 第2条第1項第3号の表彰 別紙様式4
- (4) 第2条第1項第4号の表彰 その都度定める様式 (その他)
- **第7条** 学生の表彰について、この規則によりがたい場合は、その都度関係機関で協議するものとする。

附 則

- 1 この規則は、平成6年8月1日から施行する。
- 2 この規則の施行前に作成されたこの規則による改正前の宇部工業高等専門学校文書処理規則、宇部工業高等専門学校国有財産監守規則、宇部工業高等専門学校発明規則、宇部工業高等専門学校共同研究取扱規則、宇部工業高等専門学校研究生規則、宇部工業高等専門学校聴講生規則及び宇部工業高等専門学校学生表彰規則の様式による書面は、この規則による改正後のそれぞれ対応する様式により作成された書面とみなす。

(10)視聴覚教室等特別教室使用心得

- 1 視聴覚教室等特別教室(「特別教室」とは、視聴覚教室及び合同講義室等、ホームルーム以外の教室をいう。以下同じ。)は、正規の授業のほか、課外講義、講演、演習、研究発表などの学習及び研修のために使用するものとする。
- 2 使用を希望する場合は、使用責任者があらかじめ教務・入試係を通して直接使用申込みをする。
 - (1) 使用責任者とは、講義等を直接担当する教職員又は学生会のクラブ若しく は、同好会等の顧問教員をいう
 - (2) 使用申込みは、使用希望者(団体)の名称及び使用日時を明確にして行うものとする。
- 3 使用時間は、授業に使用するもののほかは、原則として放課後から 17 時 30 分(平日) までとする。

特別教室のうち視聴覚教室の使用において、やむを得ず図書館閉館時間を超過する場合(特別に企画される講義、演習等)には、あらかじめ教務・入試係へ申し出た上、使用責任者は、図書室から玄関の施錠その他必要な事項を申し受けるものとする。

- 4 特別教室のうち、視聴覚教室の機械、器具の取扱いについては、次による。
 - (1) 映写・録音室には、指導教員又は、関係教職員以外の者の入室を厳禁する。
 - (2) 視聴覚教室内の装置は、すべて指導教員及び関係教職員が操作する。 ただし、ピアノ及びステレオ装置(映写・録音室関連のものを除く。)につ いては、この限りではない。
- 5 使用にあたっての注意事項は、おおむね次のとおりとする。
 - (1) 使用責任者は、原則として終始指導監督すること。
 - (2) 施設、備品等一切の保存に十分留意し、破損又は汚損のあった場合には、 使用責任者は直ちに教務・入試係へのその旨を届け出ること。
 - (3) 使用後は、部屋の状態を必ず使用前の状態に復し、窓及び扉の戸締まりと 必要な施錠を行うこと。

(11)情報処理センター利用心得

- 1 利用者の範囲
 - (1) 本校の教職員及び学生
 - (2) 校長の承認を得た者
- 2 利用手続
 - (1) 第1、第2演習室の利用に当たっては技術職員の指示に従わなければならない。
 - (2) その他の計算機施設を利用しようとする者は、別に定める利用願を情報処理センター長に提出し、許可を得なければならない。
- 3 基幹システムの操作者の範囲
 - (1) 技術職員
 - (2) 本校の教職員で基幹システムの操作に十分な能力を有すると情報処理セン ター委員会が認めた者
- 4 利用時間
 - (1) 利用時間は以下のとおりとする。

平 日 午前8時30分から午後8時まで

土・日・祝日 午前10時から午後6時まで

(長期休業中などを除く)

- (2) 情報処理センター長が必要と認めた場合は、前号の規定にかかわらず、利 用時間を変更することができる
- 5 その他
 - (1) 能率的に実習を行い、雑談・飲食等をしないこと。
 - (2) 機械が故障した場合は、直ちに技術職員に報告し、その指示に従わなければならない。